

# 令和6年度 事業報告

社会福祉法人 牧羊会

## 1. 総括

令和6年度は、介護・医療・障害の同時報酬改定があり、処遇改善が主な目的のプラス改定(1.59%)でありました。当法人でも更なる昇給や休日数の増加、福利厚生の実施、ICTや介護機器の更新等、働きやすい職場づくりで処遇改善に取り組まれました。しかし依然として人材定着や確保が難しく、離職率改善への課題解消に至ってなく、事業経営の基本となる利用者数の確保にも影響が生じ厳しい経営状況となりました。介護サービスの質向上では、各部会・委員会・研修会等を通じ専門性や意欲を高める取組みを致しました。又、コロナ感染症では一時施設内でまん延した期間がありましたが、多方面からの協力や適切な対応等の継続で終息に至りました。

## 2. 概要

### ■設備整備

- ・ヨハネの里電話設備・無線LANの更新整備(故障・Wi-Fi強化整備)

### ■機器等整備

- ・牧羊会ネットワークサーバー、シオンの丘入浴機器2台、エデンの丘厨房機器(老朽・故障整備)

### ■送迎車両整備

- ・シオンの丘 軽送迎車1台更新(老朽整備)
- ・ヨハネの里 軽送迎車1台更新(老朽整備)

### ■資産運用

- ・四国電力 第330回社債1,000万円取得(R6.6)
- ・(株)みずほフィナンシャルグループ 第31回期限前償還条件付無担保社債1,000万円取得(R6.7)
- ・(株)三井住友フィナンシャルグループ 第19回期限前償還条件付無担保社債1,000万円取得(R6.7)

### ■その他

- ・エデンの丘調理形態をクックチル配食システムに変更(R6.6 利用導入)
- ・玉藻総合法律事務所 弁護士 藤本尊載様と顧問弁護士契約締結(R6.12)

## 3. 役員の任期及び定数

理事及び監事	任期：令和5年6月24日～令和6年度定時評議員会の終結まで 定員：理事6名、監事2名
評議員	任期：令和3年6月18日～令和6年度定時評議員会の終結まで 定員：評議員7名

## 4. 役員会等の開催状況

### (1) 理事会

開催年月日	出席数	議 題
令和6年 5月25日	5名 監事2名	1. 令和5年度 事業報告について 2. 令和5年度 収支決算について 3. 定時評議員会の招集について
令和6年 10月19日	5名 監事2名	1. 令和6年度 補正予算(案)について 2. 常勤パート就業規則の変更について

		報告. 理事長の職務執行状況の報告について
令和7年 3月21日 (決議の省略)	6名 監事2名	1. 令和6年度 補正予算(案)について 2. 令和7年度 事業計画及び予算(案)について 3. 諸規程変更の件について 4. 役員等賠償責任保険契約の件について 5. 評議員会の招集について(決議の省略) 報告. 理事長の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

開催年月日	出席数	議 題
令和6年 6月19日	7名	1. 令和5年度 事業報告の承認について 2. 令和5年度 収支決算の承認について
令和7年 3月27日	7名 決議の省略	1. 令和6年度 補正予算(案)の承認について 2. 令和7年度 事業計画及び予算(案)の承認について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催年月日	出席数	議 題
無し		

(4) 監事の会計監査の実施

日 時	場 所	実施者
令和7年5月26日	シオンの丘ホーム	青木監事 浮田監事

5. 重点方針の取り組み

方 針	事 業 報 告
経営基盤の 安定	ポストコロナの体制づくりや物価上昇への対応が難しく、人材の定着不足もありサービス提供を制限しなければならない状況で、利用収入の大幅減で大変厳しい経営となりました。単体の移転整備は、用地取得が難しく停滞しています。各施設では老朽化した通信設備、入浴・厨房機器や軽送迎車の更新をしました。
人財育成	職員の定着向上に向けて、介護スキルやコミュニケーション向上を基本とする、様々な研修やミーティング等の機会を増やし処遇改善も継続しながら、働きやすい環境と育成に取り組みました。しかし、前年度より離職者数は増加し定着改善には至りませんでした。また、ハラスメント対策は、組織としての強い姿勢を示し、お互いを尊重し安心できる、風通しの良い組織風土づくりに努めました。
質の向上	専門性の向上のため、継続した部会・委員会・専門チームでの活動や研究活動等を支援し、各専門チームや各施設の強みを生かす取り組みを行いました。
地域介護	地域へは、香西長寿声かけ隊(徘徊声かけ模擬訓練・認知症パートナー養成講座)、さぬき男介護友の会(男性介護者の会)、出前講座、地域ネットワーク会議、地区防災部会、地域の防災訓練、配食サービス等への地域活動は継続した支援・連携を行いました。
先駆的 取り組み	訪問介護現場へ新たな記録システムを導入し、職員同士の情報共有やGPS入出管理などで不安業務へのサポート体制ができました。また、記録業務は音声入力・インカムのマニュアル化、周辺IOT機器と連携させ効率化に取り組みました。